

### 第30回新生ふくしま復興推進本部会議

○日 時：平成26年12月1日（月）9：45～9：55

○場 所：特別室（本庁舎2階）

#### 【副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議を開催いたします。

議題1「政府に対する緊急要望について」、企画調整部長。

#### 【企画調整部長】

それでは、資料1をご覧ください。

政府予算も大詰めを迎えているタイミングでございますので、緊急的に、文書にて、しっかりと要望するという事で、特に今回は、資料1にある全15項目を要望してまいります。

I「総論」では、1「県内原発の全基廃炉と事故の収束」、2「集中復興期間の延長と復興予算及び人員の確保」でございます。

II「避難地域の復興・再生」では、3「避難地域の将来像の策定」、4「イノベーション・コースト構想の着実な推進」、そして、5「福島再生加速化交付金の改善」について、使い勝手の良い基金積み立て等が出来るように要望する予定でございます。

III「被災者等への支援の充実」では、6「避難生活の長期化に対応した避難者支援の充実」、これは相談員の充実等、7「保健医療福祉人材の確保」、8「子ども・子育ての支援」を掲げております。

IV「産業復興の加速化」では、先般、国に対し知事から提言をお渡しいただきましたが、9「再生可能エネルギー系統接続保留問題への対応等」及びそれに伴う特別な対策等、10「地域経済の復興に向けた支援」について、立地補助金や緊急雇用創出事業の予算措置等を掲げております。11「風評払拭・風化防止対策」、そして12「資材・人件費高騰対策」については、資材が20%以上高騰しておりますので、それに対応した予算措置を要望するという事でございます。

V「復興に向けた環境の整備」では、13「中間貯蔵施設等に係る対応」、14「除染の確実な実施」、15「広域的な交通ネットワークと物流拠点の整備等」でございます。

以上どれも本県復興に不可欠なものでございますので、本県の実情を訴え、政府予算として実を結ぶよう、各部局連携によって取り組んでまいりたいと考えております。以上でございます。

**【副知事】**

知事から、お願いします。

**【知事】**

今、企画調整部長から話がありました。私も就任以来、幾度か東京に行き、あるいはこちらに来た大臣に対して要望を行っております。

冒頭まず皆さんに申し上げたいのは、御礼です。

各省庁が、非常に真剣に福島の要望に対して向き合って、応えようとしてくれています。それは、各部局が水面下で各省庁と、真剣にこれまで議論を重ねて、対応を積み重ねてきてくれた結果だと思えます。知事が1回行って、それで要望が通るということは、あり得ない訳です。各部局、部局長もそうですし、担当者、東京事務所も含めてですが、日頃から熱心にそういった水面下での対応をしてくれていること、それが今、成果になって現れているということに対して、まず御礼を申し上げたいと思えます。

また、今日、午後伺うこの15項目も、非常に大切な項目が並んでいます。私自身も、副大臣や事務次官と向き合って話をしようと思えますが、やはり我々がこうやって国と対峙している姿というのは、全ては県民のためだ、という当たり前の原点、これを頭に置いて、今日も要望を行ってきたいと思っております。やはり、国との交渉、あるいは東京電力との交渉に、福島県として、対応していかないといけないのですが、そこで大事なことは気迫だと思えます。我々は、県民を後ろに200万人抱えている訳です。いろんな思い、つらい思いも抱えていますので、その県民のために、気迫を持って、国に対して言うべきことは言い、取るべきことを取る。そして、共感をしてもらいながら、協力してもらおう。これが、これからのフェーズにとって非常に大切だと思えますので、こういった思いで、これからも皆さん、一つ一つ丁寧に交渉していただきたいと思えます。

**【副知事】**

次に、報告事項に入ります。

「イノベーション・コースト構想検討会について」、「再生可能エネルギーの接続回答保留に関する緊急提言について」、まとめて企画調整部長。

**【企画調整部長】**

資料2「福島県イノベーション・コースト構想の具体化に関する県・市町村検討会議」ということで、前回の復興推進本部において、会議の立ち上げをご説明申し上げまして、先週金曜日に第1回目の検討会議を開催いたしました。

報道等にも出ておりましたけれども、国で行う3つのテーマ以外に、農林水産分野やエネルギー分野等について、県主導で立ち上げまして、議論をリードしていきたいと思います。検討状況については、節目節目で、この本部会議にも、ご報告申し上げたいと思っております。

次に、ページをおめくりいただき、資料3「再生可能エネルギーの接続回答保留に関する福島からの緊急提言」ですが、先週、専門部会から提言をいただいて、経済産業大臣と東京電力に、知事から提言していただきました。経済産業大臣からは、「福島は特別である」とした上で、提言の10箇条にある短期的、中長期的な対策を含めて、「必ずやる」という力強い御発言もありました。この再生可能エネルギーは復興の柱でございますので、今後とも県と市町村と事業者が連携し、全力でやっていきたいと思っております。以上でございます。

**【副知事】**

次に、「財務事務の適正化について」、総務部長。

**【総務部長】**

資料4をご覧ください。「財務事務の適正化」について、重点事業それから重点事業以外の主要事業について、第2四半期までの執行状況の確認を行いました。全体として、63.6%の進捗率ということで、概ね適正に事務が執行されているのではないかと思います。今後とも、財務事務の適正化に努めてまいりたいと思っております。以上です。

**【副知事】**

その他として、農林水産部長から「12月5日のトップセールスについて」、紹介してください。

**【農林水産部長】**

お手元の資料をご覧ください。平成26年産福島米の販売促進や風評払拭を図るため、日本橋ふくしま館において、12月5日の昼、知事のトップセールスを予定しております。JA五連の会長、全農の本部長も参加いたしまして、「天のつぶ」、今が旬のりんご、あんぽ柿等を配布の上、PRしていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

**【副知事】**

それでは、以上で復興推進本部会議を閉じます。